

日本共産党新潟市議団が大雪問題で市に申入れ

日本共産党新潟市議会議員団は15日、11日から12日にかけて降雪量80センチを記録した大雪問題について、新潟市の若杉危機管理監と本多土木部長に対し、別紙のような申入れを行いました。



若杉危機管理監に申し入れ書を手渡す渡辺有子市議団長



左から平あや子議員、渡辺有子議員、五十嵐完二議員、飯塚孝子議員

新潟市長
篠田 昭 様

2018年1月15日
日本共産党新潟市議会議員団
団長 渡辺 有子

新潟市大雪に関する申し入れ

1月12日を中心に降り続いた雪は、新潟市中心部で8年ぶりに積雪が80センチを超え、平年の10倍以上となり、市民生活に大きな障害をきたしています。また、西区では除雪していた高齢の女性が倒れて死亡しています。

この間の除雪等で役割を發揮されている市役所関係各所のご努力に敬意を表しますと同時に、市民の日常生活確保等のために下記の点について申し入れいたします。

1. いまだに除雪の進まない地域生活道路はじめ道路除雪に万全を期されたい。
また、地域により除雪時間に違いがあるが除雪の時間帯はある程度地域の業者の判断にまかせること。
2. 通学路をはじめ市民生活に支障のある歩道の除雪に万全を期されたい。
3. 現在も運休となっている西区等の路線の除排雪をすすめ早期に運行をはかることとあわせ、バス停留所のバス待ち環境の改善のため除雪を行われたい。
4. 住民が多く利用する公共施設の駐車場の除雪に万全を期されたい。
5. 北区、西蒲区に設置された高齢者相談窓口を全区に設置し、テレビ等で周知を図ること。
6. 農業被害、商店街の被害等の把握に努め、復旧のための必要な支援を行うこと。